

2025 年 2 月 21 日 第 1 版

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 救急医学教室

株式会社 JIMRO

記

研究の名称	医療ビッグデータを用いた敗血症に対する顆粒球単球吸着除去療法に関する臨床的検討
対象	2011 年 1 月 1 日から 2024 年 11 月 30 日までの期間に入院された敗血症患者さんの多施設臨床データセットを研究に利用いたします。データセット内の情報はすべて匿名加工をされており、個人を特定できる情報は削除されています。
研究期間	研究実施許可日（2025 年 6 月 16 日） ～ 2027 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：敗血症の治療法は進歩していますが、いまだに 30～40%の致死率を有しています。最近では敗血症における免疫不全に関する研究が進み、生命予後や入院期間の延長、ADL 低下に関わることが多く報告されています。しかしながら、敗血症に対する免疫不全の治療に関しては、臨床的に使用可能な免疫調整療治療法は存在していません。近年、炎症性腸疾患に使用されている免疫調整治療である顆粒球単球吸着除去療法が敗血症治療に対する治療法として注目されており、十分に検討すべき課題であると考えています。本研究では、敗血症に対する顆粒球単球吸着除去療法を評価することを目的として、臨床データセットを用いて後方視的解析を行います。本研究の実施により、敗血症に合併する免疫不全の病態解析が深まり、同疾患の治療成績の向上

	に貢献することができると考えています。 利用方法：データセット内で必要情報を抽出し解析を行います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 各共同研究機関から主管機関である大阪医科薬科大学には、研究で利用する情報から個人を特定できる情報を削除した状態で提供されます。 利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2025 年 6 月 16 日）
利用し、又は提供する試料・情報の項目	情報：検査データ、診療記録、レセプトデータ、退院転帰、入院期間、ICU 入院期間、治療内容等
利益相反について	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。 当該マネジメントの結果、本研究に関して以下の事実を開示いたします。 株式会社 JIMRO から、共同研究費を受け入れています。
研究者名 【研究責任（代表）者】 大阪医科薬科大学 救急医学 助教（准） 久宗 遼 【共同研究機関・研究責任者】 株式会社 JIMRO 係長 暮地本 権一	
問い合わせ窓口 【主管研究機関】	

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 救急医学

担当者 久宗 遼

連絡先 072-683-1221（代） 内線 56177

【共同研究機関】

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル3階

株式会社JIMRO 東京事務所

担当者 暮地本 権一

連絡先 03-3469-9351

【試料・情報の提供を行う機関】

提供責任者：暮地本 権一

研究機関及び研究機関の長：株式会社JIMRO 代表取締役社長 宮川 仁